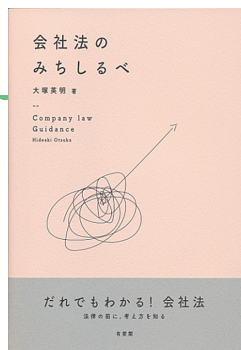


会社法のみちしるべ

大塚英明

2016年3月発売 / 242頁 / 本体1500円＋税
四六判 / 並製



編集
担当者
から

「会社法」と聞いて、どんな印象を持たれますか？ 条文数は1000条近くあって、取っつきにくい法律だと思われる方もいるかもしれません。でも、会社法という樹木から複雑な枝葉を切り落とした幹は、意外とシンプルです。

本書は、会社法の幹（基本構造・基本原則）を、「ファイナンス」と「ガバナンス」という2つの視点から、さまざまな比喻（取締役が雇われシェフだったり、株式会社が動く豚の貯金箱だったり……）を用いながら、法律知識がない方にも読みやすいようにストーリー化しました。全部で22個あるUnitは、それぞれが会社法連続ドラマの1回分になります。言ってみれば、会社法の入門書の前に読んでいただきたい1冊です。

法学生や法科大学院の未修の方にとどまらず、法学部以外で会社法を学ぶ方、さらには社会に出てから、会社法の考え方を理解したい方など、幅広い方に楽しく読んでいただけます。是非、手にとってみてください！（山宮）

Point!



会社法にも、「簡易版トリセツ」を！

〔目次抄録〕

Part 1 はじめの一步 [9Unit]

Unit1 企業ってなに？ / **Unit2** もとでを集める——株式会社のファイナンス / **Unit3** 所有と経営の分離——株式会社のガバナンス / **Unit4** もとでを出すことの意味——株式と株主 / **Unit5** 株式会社の「頭」と「手足」——株式会社の機関ほか

Part 2 お金を集める——ファイナンス [6Unit]

Unit10 新たなもつで集め——新株発行 / **Unit11** 新株発行に応じるのは誰？——授權資本ほか

Part 3 会社の健康管理——ガバナンス [5Unit]

Unit16 経営のチェック——監査とは？ / **Unit17** 取締役会の活性化 ほか

Part 4 さあ、総仕上げ！

——会社法をめぐるバトルの展開 [2Unit]

Unit22 会社法の大スペクタクル——敵対的企業買収 ほか

UNIT 3

ダーにしたり……。でも、みんな本質的にはヤルちゃんですから、やっぱり、儲けが出たらみんなでセレブレート、損してしまつたらみんなで「バカ、バカ！」と頭をたたき合います。

話し合い——ユニット型企業

これらに対して、ヤルちゃん・ノルちゃんのユニット型企業については、その「効率的」事業遂行のために本格的な調整が必要になります。

とくにこのパターンの企業のノルちゃんは、Unit2で見た①型のノルちゃん、すなわち企業世界で暮らしている虎視たんたん型ノルちゃんであることが多いのです。この人たち、ヤルちゃんになってめんどくさいことをやるのはイヤだけど、事業にはけっこうこだわりを持っています。ですからヤルちゃんのことを完全には信用しておらず、いつもちょっぴりを出したりします。そのうえこうしたユニットの代表格であるベンチャー企業「エンジェル」名前とはうらはらに、いつまでも「ニコニコ天使」でいてくれるわけではありません。さっさともつでを引き上げてヤルちゃんを見捨てることだってあります。ザビルに豹変です。それは一番手痛いおしおきですね。ヤルちゃんは「クチ出さないで！」と思っていますが、そんなおしおきは受けたくないので、それほど強気には出られません。ノルちゃんの顔色をうかがいながら、なるべく自分の思うような形で事業を進めていくばかりありません。ああ、オモテでは協力し合いながらも、ウラでは相手を利用する2人……。ドラマみたいですね。



25